

# 地方大学と首都圏大学における 理工系女子学生の博士課程進学率の違いについて

鹿児島大学 城戸 未宇

# 自己紹介

## 城戸 未宇

- ・ 鹿児島大学 総合理工学専攻 博士課程3年
- ・ 日本学術振興会 特別研究員 DC2
- ・ 修了後は, 理化学研究所にて日本学術振興会 特別研究員 PD



## 研究内容

- ・ 電波望遠鏡ALMAを用いて, 惑星形成現場の原始星円盤とその周囲のガスの力学構造を明らかにする観測的研究
- ・ 今後は化学的な視点も取り入れ, 原始星円盤をより総合的に理解することを目指している

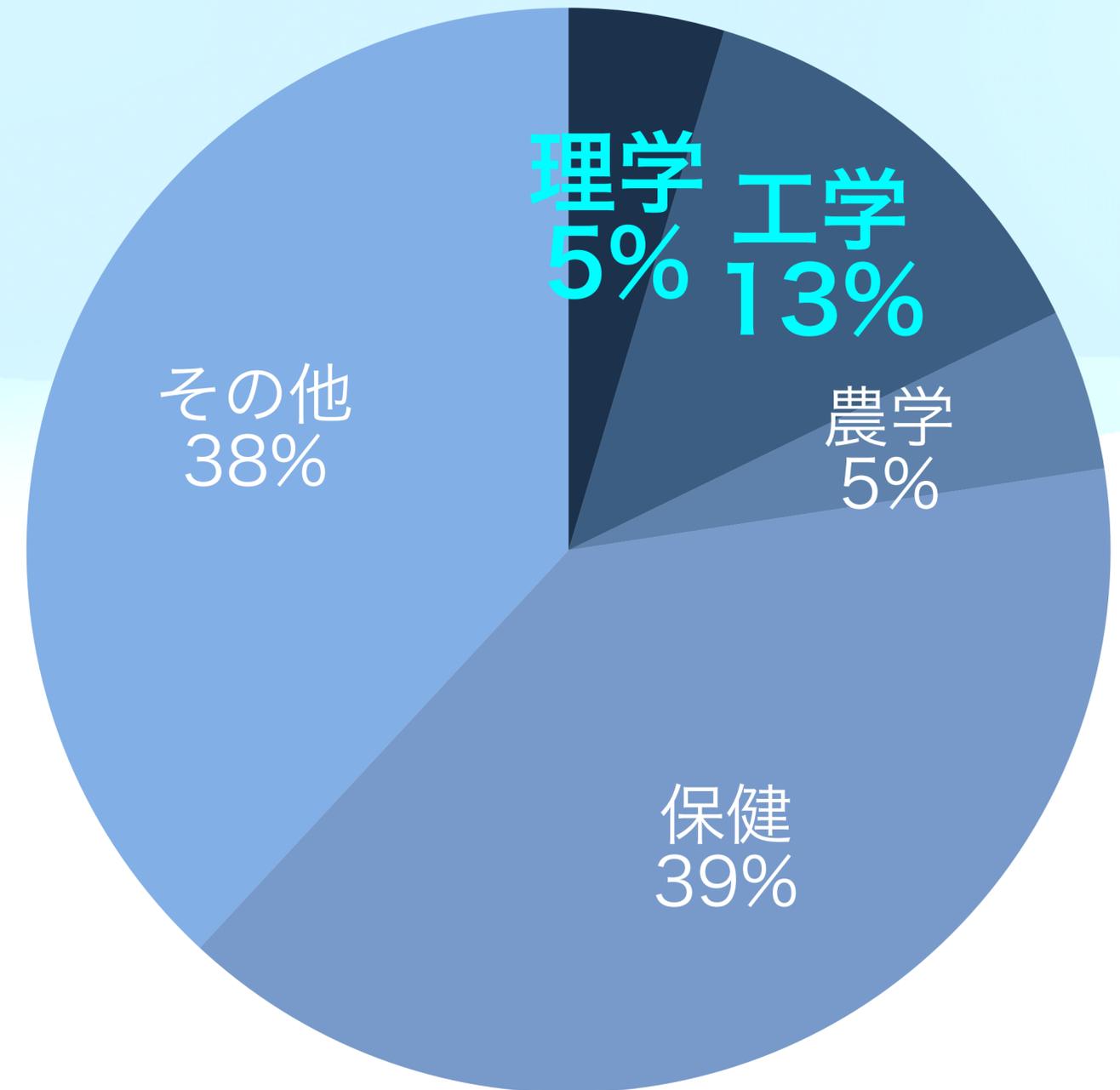
### ALMA



# 令和7年度の女子博士課程学生の専攻分野別卒業生数比較

女子博士課程学生修了者: 合計5216人

- 理学系: 242人
- 工学系: 686人
- 農学系: 250人
- 保健系: 2051人
- その他: 1987人



理工系女子博士課程学生は全体の**18%**

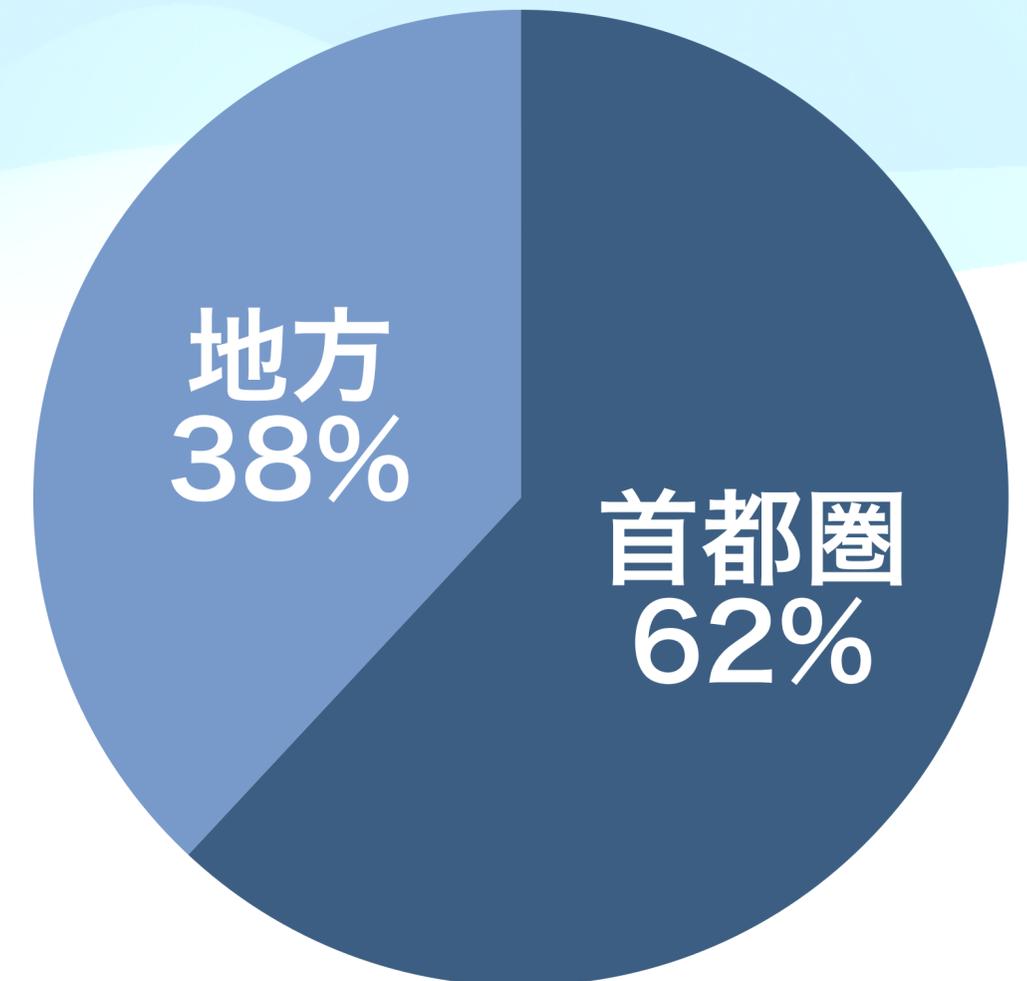
出典: 学校基本調査

# 令和7年度の女子博士課程学生の地域別卒業生数比較

- 首都圏大学 (北海道, 宮城, 東京, 愛知, 京都, 大阪, 福岡): 3231人
- 地方大学 (その他都道府県): 1985人

理工系女子博士課程学生の地域分布を,  
女子博士課程学生全体の分布と同じと仮定

- 首都圏大学学生: **11% 程度** (~575人)
- 地方大学学生: **6% 程度** (~352人)

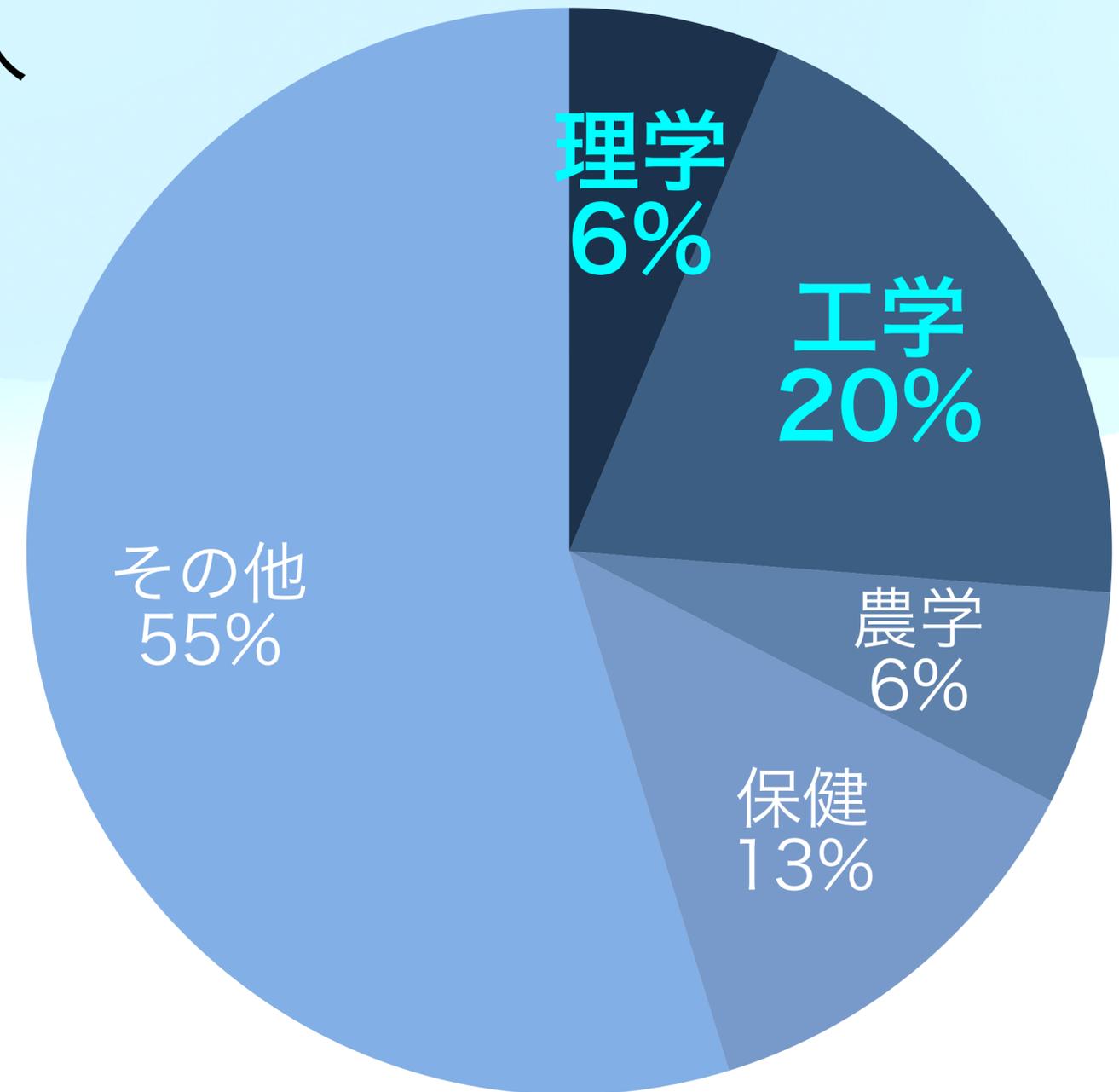


出典: 学校基本調査

# 令和4年度の女子修士課程学生の専攻分野別卒業生数比較

女子修士課程学生修了者: 合計22706人

- 理学系: 1431人
- 工学系: 4521人
- 農学系: 1451人
- 保健系: 2870人
- その他: 12433人



理工系女子修士課程学生は全体の**26%**

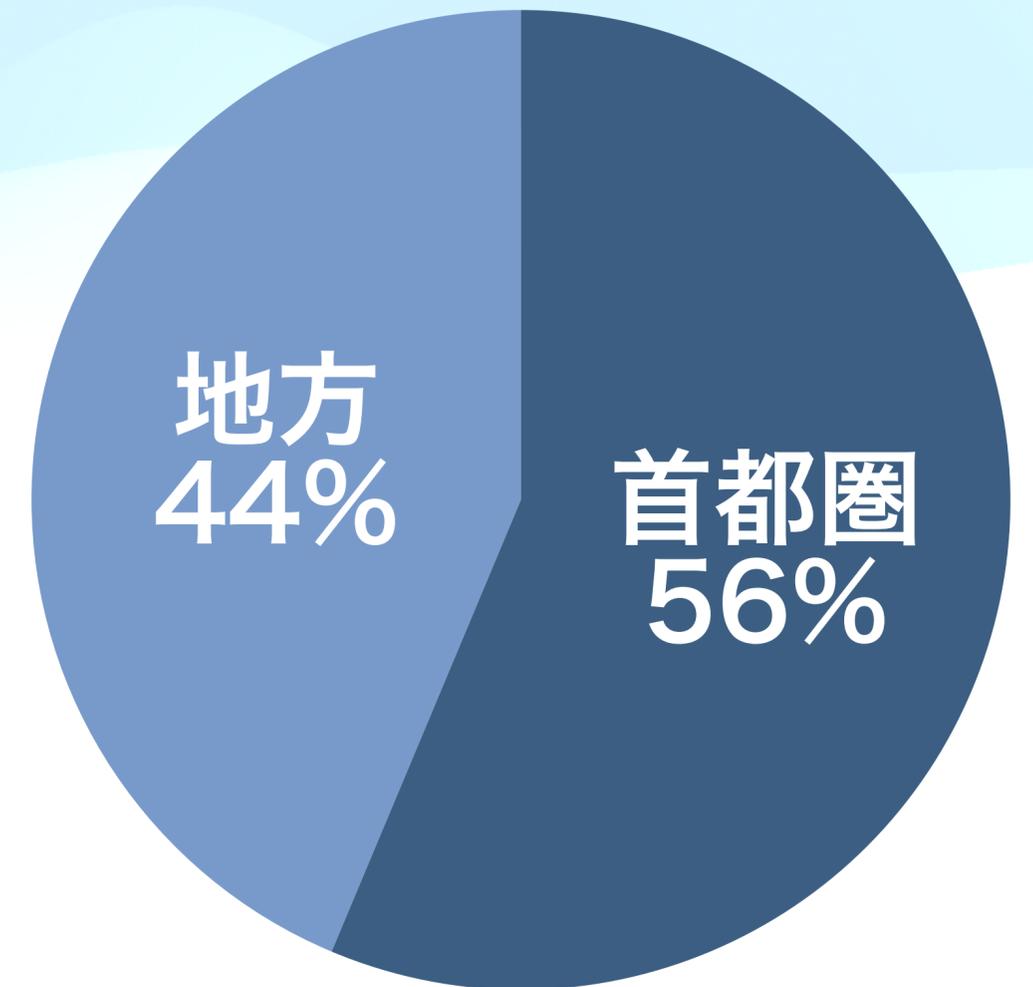
出典: 学校基本調査

# 令和4年度の女子修士課程学生の地域別卒業生数比較

- 首都圏大学 (北海道, 宮城, 東京, 愛知, 京都, 大阪, 福岡): 12788人
- 地方大学 (その他都道府県): 9918人

理工系女子修士課程学生の地域分布を,  
女子修士課程学生全体の分布と同じと仮定

- 首都圏大学学生: **15% 程度** (~3333人)
- 地方大学学生: **12% 程度** (~2619人)



出典: 学校基本調査

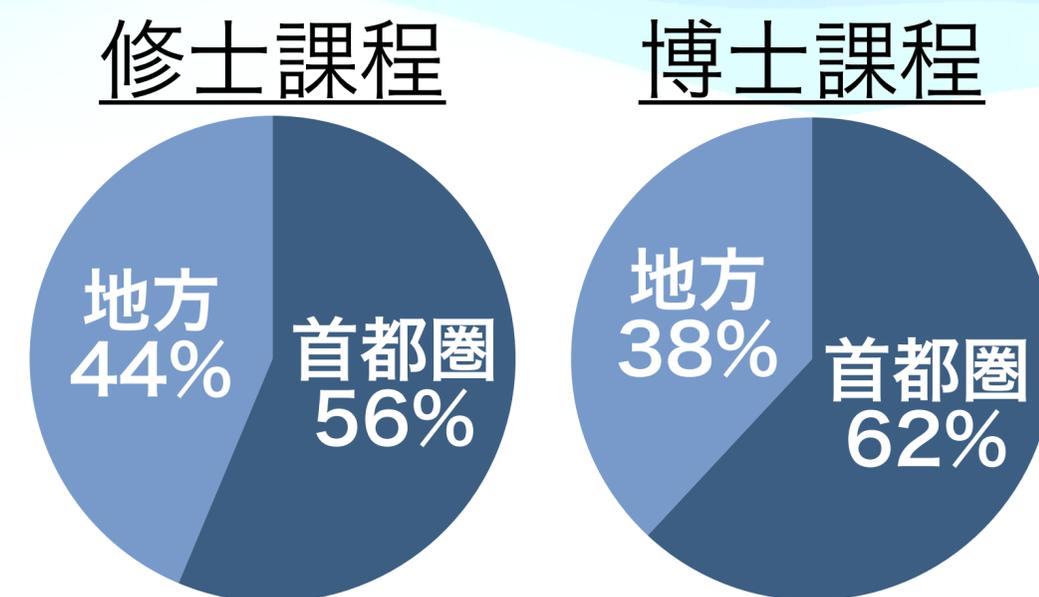
# 地域による博士課程進学率の違いに影響しうる要因

## 経済的支援の充実度

- 大学, 研究科ごとに, 利用可能な経済的支援 (奨学金, RA/TA, 給与型支援, 授業料免除等)の種類や制度数が大きく異なる可能性

## ロールモデルや進学文化の違い

- 博士課程に進学した先輩や, 研究者として活躍する身近なロールモデルの存在
- 博士課程進学への意識に地域差がある可能性



## 博士号取得後の進路イメージ

- 博士号取得後も研究を継続できる環境が身近にあるかどうか
- 博士号取得者の一般企業への就職に対する認識やイメージの違い

# 地方大学における理工系女子博士課程学生を増やすためには

---

## 経済的支援

- ・ 経済的支援は博士課程への進学を後押ししている？
- ・ どのような経済的支援が進学率に影響している？

## ロールモデル・進学文化

- ・ 博士課程への進学を身近に感じられる環境を形成するには？
- ・ 身近なロールモデルの存在は進学の意味決定にどの程度影響する？

## 博士号取得後の進路

- ・ 博士号取得後のキャリアの見えやすさは、進学率にどのような影響を与える？
- ・ 研究職, アカデミアポストの地域差も関係？
- ・ 博士人材の民間企業での活躍に対する認識の違い？